

## 台東区学校教育ビジョンの基本理念

学校教育は一人ひとりの個性・能力を伸ばし、心豊かに充実した人生を送るための基礎を築き、社会全体の今後一層の発展を実現するための「ひとづくり」です。

台東区は、世界に飛躍し未来を創造する子供を育むため、まち全体を人が成長するための環境として捉え、豊かな文化や歴史、伝統などを活かした教育を推進していきます。こうしたかけがえのない財産を活かし、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、未来を担う子供たちが、多様化・国際化する変化の激しい社会に対応し、創造性豊かに、たくましく生きる力を身に付けられる教育を推進します。

基本理念を表すキャッチフレーズ

まちを学びのキャンパスとし世界に飛躍し未来を創造する人を育成する

### I 教育目標とその実現に向けて

台東区教育委員会の教育目標の実現を目指し、区民の期待に応える前期中等教育を推進する。

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調としつつ人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りを持ち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人の育成に向けた教育を充実する。

#### 1 学校教育目標と目指す生徒像・学校像

##### (1) 学校教育目標

生徒が社会の中でよりよく生きていけるようにするため

自主：知を求め、技を磨く      共生：命を貴び、共に働く      健康：体を鍛え、心を耕す

##### (2) 目指す生徒像

自ら判断し、進んで学ぶ生徒

認め合い、共に伸びゆく生徒

明るく、心身共に健全な生徒

### (3) 目指す学校像

#### ア 安心・安全、清潔な学校

自他の命が一番大切であるということの基本とし、生徒の生命を守り、学校における事故を未然に防止する。安全・安心の礎は、ルール、マナーはもとより、違法行為のない生活により保障する。

#### イ 生徒が自己を鍛える学校

全ての教育活動を通して、基礎学力の定着を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を充実させる。また、自らのあり方、生き方を探求させるキャリア教育を展開する。これらにより、困難な課題に対しても、自信と誇りを持ち、主体性を発揮して粘り強く取り組める生徒を育成する。

#### ウ 地域社会に貢献する学校

生徒会活動等や部活動を自治的に行う実践を積ませた上で、職場体験や奉仕体験活動などの教育活動を、保護者や地域の方々と連携して実施する。人々とのふれあいを通じて、確かな職業観や勤労観を身に付け、地域社会に貢献しようとする精神を育む。

#### エ 地域の伝統や文化を継承する学校

課題解決学習や体験学習などの教育活動を、地域の伝統技能や神社仏閣、史跡などの教育資源を活用して実施し、多感な中学生の時期にふさわしい教育環境を整え、日々のにぎわいのある暮らしの中で、心のふるさとを実感できるようにする。

## II 学校教育目標を達成するための教育課程の編成・実施

### 1 学校教育目標並びに重点目標を達成するための基本方針

- (1) 学力向上
- (2) 豊かな人間性の育成
- (3) 特別支援教育の充実

### 2 学校教育目標を達成するための具体的な取組

#### (1) 学力向上

- ア 授業力の向上を常に意識した教師集団を作る。授業の「ねらい」「ふり返し」を意識した授業展開を実践する。質問ができる生徒を育成する。
- イ 土曜授業公開日（6日間）を授業日とし、授業時間を確保するとともに、学校行事や生徒会活動を充実させる教育課程を編成・実施する。
- ウ 教科教室型教育を継続し教室環境を整える。ICTを活用して興味・関心を高め、意欲的に課題を探究する態度を育む。
- エ 他者と協力して主体的に学習に取り組む態度を育てるため、言語活動を充実させ、協働学習や課題解決学習など主体的・対話的で深い学びを実現する。
- オ 漢字の読み書きや数学の計算、英語のスペリングなどのコンテストを実施する。
- カ 質問教室や放課後学習教室（柏葉アカデミー）を充実させ、習熟に課題のある生徒だけでなく学習意欲の高い生徒を参加させ、基礎的・基本的な知識や技能の習得・定着を図る。また、様々な習熟度の生徒に対応した講習を夏期・冬期など長期休業日中に実施する。
- キ タブレット等のICT機器を効果的に活用することで、生徒の興味・関心を高める。

## (2) 豊かな人間性の育成

- ア 「特別の教科 道徳」を中核とした道徳教育の推進により、自己を取り巻く自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、生命を大切にする心、他人を思いやる心、自己抑制力、責任感、他者との共生や異なるものへの寛容など、豊かで柔らかな感性を養う。
- イ 身近な人権課題を理解するとともに、偏見や差別を解消しようとする態度を育む。また、全教員が人権教育の視点を明確にした「ミニ授業研究」の授業を実施するとともに、あいさつ運動、大江戸清掃隊、人権講話、人権作文、人権標語などの取組により生徒の人権意識を高める。
- ウ いじめ、偏見を許さず、望ましい人間関係を築くことができる資質や態度を育成する。
- エ 特別支援学級・難聴通級指導学級の生徒との交流を通して、共生社会の理解と他者を思いやる心、共に生きる心などを醸成する。
- オ 地域の文化施設や地域人材などの教育資源を活用し、台東区の伝統文化とふれあう活動を通して、地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土への愛着と誇りを育むとともに、他国の文化に向けて理解を深める。
- カ 全学年でこころざし教育副読本「こころざし高く」を活用し、先人の生き方に学び、自らの将来に目標をもつことができる生徒を育てる。また、第2学年で立志式を行うことを通して、自らの理想、夢、希望をまとめ、発信する生徒を育成するキャリア教育を展開する。
- キ 協働学習などの学び合いや学校・学年行事等に協力して取り組ませることを通して、成就感や自己肯定感を味わわせるとともに、自他の考えやよさを認め合う態度を育てる。
- ク すべての教育活動を通して、スポーツ、文化の大切さや健康・安全に関する指導を展開し、心身の健康と体力を向上させる。
- ケ 部活動に多くの生徒が加入し、部活動指導員、外部指導員の協力も視野に入れ、各部の目標に向け、技術や技能や体力を向上させ個性を磨く。また、働き方改革、プレイヤーズ・ファースト（センタード）、オーバーユースなどの課題に対しても取り組む。効率化、時短部活動を目指す。

## (3) 特別支援教育の充実

- ア 特別支援学級では、健康で明るい生活を送るために必要な学力や基本的な生活習慣・態度を身につけさせる。また、職業生活への適応を図ることを目指し、日常生活や実習を通して、生産・流通・消費など産業社会への理解を深めさせ、社会生活に参加する能力を向上させる。
- イ 難聴通級指導学級では、聴覚管理を適切に行い、他者と円滑にコミュニケーションを行う能力を高める。また、聴覚障害の状態に応じて指導内容を精選するとともに、生徒の聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動を展開する。
- ウ 特別支援教室では、発達障害のある生徒の集団適応能力を伸長させる。また、全教職員が発達障害のある生徒を含む全て生徒にとって分かりやすい授業を実施することで、全ての生徒にとって良い効果をもたらすようにする。